

XVII. オランダ

<要約>

	概要	特徴
1. 市場環境 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○社会構造 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総人口：1,703 万人（世界第 63 位、2016 年 IMF 推計） 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○経済環境 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人当たり GDP：45,210 ドル（世界第 14 位、2016 年 IMF 推計） ・ 実質 GDP 成長率：1.8%（2016 年 IMF 推計） ・ 1 ユーロ=123,4 円（2016 年 12 月末） 	
2. 金融制度 の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○銀行等の業態分類（機関数、総資産、根拠法） <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間商業銀行（27、1.7 兆ユーロ、金融監督法） ・ 協同組織金融機関（107、0.7 兆ユーロ、金融監督法） ○監督官庁：オランダ中央銀行（DNB）、金融市場庁（AFM）、欧州中央銀行（ECB） ○預金保険制度：あり（元利合計 10 万ユーロ上限）。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1990 年代から金融機関が合併と統合を繰り返したことで、4 大銀行（ING 銀行、ラボバンク、ABN アムロ銀行、SNS 銀行）による寡占状態。 ○協同組織金融機関のラボバンク（Rabobank）が国内最大手の金融機関の一つである。 ○世界金融危機・欧州債務危機により、多額の公的資金が銀行に注入された反省から、政府レベル・各行レベルの双方で規制改革が進められている。 ○2014 年 11 月より、銀行の重要性・監督業務に応じて国内当局（DNB、AFM）と ECB が分担して規制監督を行う制度に変更された（単一監督メカニズム）。

<p>3. 郵便貯金の現況</p>	<p>○郵便貯金制度・経営形態</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1881年に国立郵便貯金銀行が設立。同行は1986年に民営化し、ポストバンクと改名。 • 同行は1991年に保険大手と合併して金融コングロマリットのINGグループを形成。2009年にING銀行のリテール部門に吸収された。 <p>○郵便公社等との関係・拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1993年に郵便会社KPN（現：PostNL）と合併企業Postkantoren（郵便局会社）を設立し、郵便局を運営している。郵便局では送金を除き、預金・貸付等の金融サービスは提供していない。 • 郵便局数は2,525局（2015年12月末）。 <p>○顧客基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> • ING銀行の収益源として、オランダのリテール金融部門が最大である。 • オランダ以外に36の国と地域に拠点をもち、欧州を中心にリテール金融に注力。 <p>○主な商品</p> <ul style="list-style-type: none"> • 預金、貸付、送金・決済、保険、投資商品販売等様々な商品を提供。 	<p>○INGグループはナショナル・ネーデルランテンに代表される保険部門の切離しを進めている。</p> <p>○Postkantorenは2011年に運営する従来型（traditional）郵便局を全局閉鎖した。</p>
<p>4. リテール金融機関における特徴</p>	<p>○個人金融資産（2015年12月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 総額1.95兆ユーロ • 預金：20.0% • 有価証券（株式・ファンド・長/短期債）：5.9% • 年金掛金・生命保険：74.1% 	<p>○個人金融資産は保険・年金資産に極端に傾斜している。</p> <p>○与信機関による家計預金残高では、普通預金が最も大きい。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ○マイクロファイナンス等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会事業に投資するソーシャルインパクトファンド、ソーシャルインパクトボンドに注目が集まっている。 ○国有銀行再上場 <ul style="list-style-type: none"> ・ ABN アムロ銀行は 2015 年 11 月、IPO を実施し再上場した。 ・ SNS 銀行は全株式を政府が保有する形態に変わり（2015 年 9 月）、2017 年 3 月の総選挙以降の再上場が目指されている。 ○銀行同盟とオランダの対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ オランダは EU において金融制度の統合をめざす「銀行同盟」に参画し、銀行監督、預金保険のほか銀行破綻処理・再建についての EU 統一規則を適用した（2015 年 11 月） ○ING 銀行の動向 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2009 年に欧州委員会（EC）との間で定めた構造改革計画を実施中である。具体的には国内外の保険・投資部門の切り離し、注入された公的資金の返済等がある。 ・ 2017 年までの中期経営戦略を発表（2014 年） ・ 同経営戦略を推進するために、2017 年、2020 年の財務上の数値目標等を含む Accelerating Think Forward を発表（2016 年 10 月） ・ リテール顧客向けにデジタル化サービス促進を通じた顧客サービスの向上を目指している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○民間大手の ABN アムロ銀行は 2013 年、ソーシャルインパクトファンドを導入。1,000 万ユーロにのぼる投資を再生可能エネルギー、生態系回復、ヘルスケア、開発途上国の課題解決のための 15 事業に対して投じてきた ○EU の銀行破綻処理はバイルイン（破綻時の損失負担を、当該行の債権者、株主、預金者に要求する）を原則とする。 ○国内金融規制当局の DNB が国内各行の破綻処理戦略を策定し、破綻時のつなぎ資金の原資となる基金を設立する。
--	---